

平成 27 年度事業報告書

平成 28 年 6 月
公益財団法人 高原環境財団

当財団は、平成 20 年 11 月 25 日に環境省より設立許可をいただき、特例民法法人として設立されましたが、公益法人制度改革に伴い、平成 24 年 4 月 1 日より公益認定法人に移行しました。公益財団法人として 4 年目である平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）の事業状況は、次のとおりであります。

1. 理事会・評議員会開催状況

(1)第 14 回理事会（平成 27 年 6 月 8 日、決議の省略）

【主な決議事項】

- ・平成 26 年度事業報告承認
- ・平成 26 年度決算書承認
- ・第 5 回評議員会招集承認
- ・助成事業選考委員変更承認

(2)第 5 回評議員会開催（平成 27 年 6 月 8 日）

【主な報告・決議事項】

- ・平成 26 年度事業報告報告
- ・平成 26 年度決算承認

(3)第 15 回理事会開催（平成 27 年 6 月 24 日）

【主な決議事項】

- ・平成 27 年度助成事業決定

(4)第 16 回理事会（平成 27 年 12 月 22 日、決議の省略）

【主な報告・決議事項】

- ・平成 27 年度助成事業進捗報告
- ・平成 28 年度助成事業選考委員選任
- ・平成 28 年度助成事業選考委員長選任
- ・平成 28 年度助成事業募集要項承認
- ・平成 28 年度助成事業選考委員会評価基準承認

(5)第 17 回理事会開催（平成 28 年 3 月 28 日）

【主な報告・決議事項】

- ・平成 27 年度助成事業実績報告
- ・平成 28 年度事業計画承認
- ・平成 28 年度収支予算承認
- ・平成 28 年度資金調達及び設備投資計画承認

2. 助成事業

(1)平成 27 年度助成事業

①募集業務

平成 26 年 12 月 16 日開催の理事会で、平成 27 年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成 27 年当初より平成 27 年度の助成事業の募集業務を本格的に開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

②応募受付

平成 27 年 5 月 22 日の締切日までに、緑化を伴うヒートアイランド対策には応募が無く、子供たちの環境学習活動に 37 件の応募がありました。

③助成事業決定

平成 27 年 6 月 18 日に開催の選考委員会において審査の結果、子供たちの環境学習活動 22 件が助成を行うに相応しい事業として選定され、理事長宛に報告されました。

この報告を受け同月 24 日開催の理事会において、平成 27 年度助成事業が、原案通り決定されました。

④助成事業実績

助成事業採択された事業者には平成 27 年 6 月 25 日付で決定通知を送付し、その後各事業者により事業が実施されました。

採択された各事業者によって、それぞれ事業が進められ、すべての事業においてはほぼ予定通り事業が完了しました。これにより平成 28 年 3 月までに 9,621,000 円の助成金支払いを行いました。助成事業の実施実績は別表「高原環境振興財団 平成 27 年度 助成事業一覧」のとおりです。

(2)平成 28 年度助成事業

・ 募集業務

平成 27 年 12 月 22 日開催の理事会で、平成 28 年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成 28 年当初より平成 28 年度の助成事業の募集業務を開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

以 上

高原環境財団 平成27年度 助成事業一覧

子供たちの環境学習活動事業

番号	事業名	申請額(円)	申請者	主な事業地	事業内容	事業完了日	助成金 支払額(円)
27-201	幸谷小ケンボナシ環境教室	439,000	関さんの森を育む会 代表 武笠 紀子	千葉県 松戸市	幸谷小学校2年生を対象に、ケンボナシをはじめとして森にある樹木を中心に夏、秋、冬に自然観察を行い、関さんの森の動植物の豊かさを体験する。森の中にシシトリスズメの木の苗木を植樹する。最後に観察した主要樹木20種ほどに児童達の木に対するメッセージを書いた樹木版を取付け、次年度の児童に活動を引き継ぐ	3月10日	439,000
27-202	グリーンカーテン及びおはよう通り(仮称)整備(わくわくいきいきぐんぐん 自然とふれあう西原っ子)	500,000	熊本市立西原小学校 校長 木村 和仁	熊本市	①熊本市グリーンカーテンコンテストの部でグランプリを受賞したグリーンカーテンを更に大規模化する。②未整備の学校の門周辺にフランダース、ハンギングプランターを設置、更に自動散水装置を敷設して潤いのある環境とする	11月11日	500,000
27-203	菜園からはじまるいのちの授業～土を作り、虫を呼び寄せるプロジェクト～	500,000	多摩市立愛和小学校 校長 松田 孝	東京都 多摩市	豊かな土地とは何か、そこにある生命を感じる心を育てる、食べ物は豊かな命が宿る自然からの恵みであることを学び、心から「いただきます」を言えるようになることを目指す。6つの学習領域(栽培・調理・フードシステム・観察表現・地元学・食物循環・工作)で①生きている土、②花と種の学習(タネ栽培・収穫・調理)、③虫の観察、④屋根付きコンポスト製作を行う	3月11日	500,000
27-204	体験型環境学習の場づくりを目指した都会の里山づくり	500,000	NPO法人豊かな森川海を育てる会 理事長 島本 信夫	兵庫県 神戸市	2.5haの多開台緑地で実施しているササ刈りや除伐・間伐などの「明るい森づくり」と並行し、地域の小学校と連携し専門家の指導のもと、樹名板の設置、自然観察会、カドムの培養場作り、昆虫採集、親子自由研究、間伐材利用木工教室などを実施するとともに、下草刈りなどの作業体験を通じ地域の里山づくりへの参画と環境学習の場づくり活動を体験	1月15日	500,000
27-205	市立東原保育園の園児の環境学習活動の為に花壇づくり	303,000	さがみ野やすらぎ街づくり委員会 会長 関吉 実治	神奈川県 座間市	保育園脇の荒地となった桜並木の土を入れ替え、木材で花壇化し、花苗を園児と一緒に、デザインを考えカサ箱に植栽し、花柄取り、草むしり、水まきなどの作業を体験してもらい、花の美しさ、環境美化の楽しさを知ってもらう。地域の人からの声掛けで作業の喜びも体験させる	8月24日	303,000
27-206	平成27年度 せたがや水辺の楽校あそびの日	500,000	NPO法人 せたがや水辺デザインネットワーク 代表理事 上原 幸子	東京都 世田谷区	①月1回多摩川で水辺がササ(手網で川の生き物を探取・観察)、草地カササ(原っぱでの虫捕り)、ハードウォッチングなど自然体験活動を行う。②子供達による活動発表の記録を作成する。③間伐材を活かした施設のリニューアルを行い、子供が自然とふれあう遊び場を地域みんなで整備する	3月11日	500,000
27-207	秋篠川の環境保全と自然学習	304,000	秋篠川源流を愛する会 会長 吉澤 定之	奈良市	①近隣小学校で秋篠川の役割・生き物・歴史に関わる出前授業を実施。②児童・保護者と川遊び大会を実施し川の生き物を捕獲。③専門講師から捕獲した水生生物や水質について学習。④河川の環境保全のためすべきことを標語にまとめ桜幹に掲出。⑤園児・児童に秋篠川の絵を描いてもらいさくら祭りの際堤防に掲出	3月3日	304,000
27-208	中庭を雁瀬に！～学校の中庭の環境整備と環境教育プログラムの開発～	482,000	新潟市立小針小学校 校長 浜田 尚	新潟市	①環境整備一池の整備、動植物の管理、水道設置、花の栽培、実のなる木の植樹などで尾瀬の雰囲気近くに近づける。池では生態系を考慮してタガヤや魚を育て、観察する。地域住民も整備に参加、交流を図る。②プログラム開発一生態系の仕組みを学んだり動植物を使う学習など環境全体を学ぶプログラムを開発	3月7日	482,000
27-209	スナメリプロジェクト	500,000	三原市立木原小学校 校長 神田 幸典	広島県 三原市 (大島島)	本地域に以前生息していたスナメリにつき調査、環境保全活動を行う ①地域の人から昔のスナメリ等の情報を聞く。②瀬戸内海周辺のスナメリ生息地域の環境調査。③木原小周辺海域の環境調査を踏まえ、環境保全活動を推進	3月1日	500,000
27-210	いのちの森づくり(学校の緑地帯づくり)	500,000	いのちの森づくり友の会 代表 藤川 浩児	神奈川県 伊勢原市	①学校内の植樹地の地盤耕転、②土の準備、搬入と堆肥の混ぜ込み、③苗の準備と植樹準備、養護学校生徒と進和学園利用者による植樹、④マルチン(藁、葉藁、竹串による)作業	12月24日	500,000
27-211	みんなでいっしょにお花を咲かせましょう!	500,000	NPO法人 思いをつなぐ会 理事長 葛西 詔子	群馬県 高崎市	市内の幼稚園や小学校で子供達と一緒に季節の花植えを行う。どうすれば上手に植えられるか、年配者に教えてもらいながら一緒に植えることで世代交流を行う。その後は交代で水やりなどを行い、植物を育て花を大切にすることを学ぶ	3月10日	500,000
27-212	人と自然 共存・共生の森づくり	500,000	NPO法人 北播磨生活応援団 理事長 内橋 欣司	兵庫県 加東市	①どんぐりっ子の森活動一森の体験活動・自然観察会・キャンプ・学習会、冒険ひろば・森の学校活動を展開。②森の整備活動で出てきた小枝、葉等を活用して腐葉土化し、野菜作りを展開。収穫した野菜は森の活動時の副食として活用、食育の学習会を展開	3月15日	500,000
27-213	子ども体験活動の場 Coミドリ 「みどり育てる体験学習」	500,000	NPO法人 さっぽろAMスポーツクラブ 理事長 加藤 孝俊	札幌市	小学生を対象に6グループに分かれ、地元講師の指導のもと、畑づくり、植栽植物の維持管理、発表会等の体験学習を行う	12月7日	500,000
27-214	森のようちえん	250,000	日本冒険教育協会 理事 岡田 彰	愛知県 東海市 (任坊公園)	年少～年長児を対象に2時間/回の森遊びを実施。1回目:夏のお散歩、水遊び、泥んこ遊び、自然絵本作り。2回目:秋のお散歩、自然絵本作り、どんぐり拾い、どんぐり遊び。3回目:冬のお散歩、マシュロ焼き、自然絵本作り。4回目:春のお散歩、自然絵本作り、小さい春探し、ウツチアフラット、ネイチャーゲーム	3月10日	250,000
27-215	水棲生物と二ホンワカバチに森の豊かさを学ぶ	404,000	NPO法人 ういむい未来の里cso 理事長 小山内 誠	青森市 (グリーンパーク なみおか)	①夏場の日曜日に森を開放し、サンショウウオをはじめ水棲生物を示し意味合いを伝える。②二ホンワカバチの巣作りとその生態を示し、蜂蜜を味わってもらい自然環境とワカバチの関係性を伝える。③児童館管理者との連携で学童保育の場として楽しんでもらう。④詩人・谷川俊太郎氏の講演会に合わせ森の観察・体験会を実施	11月16日	390,000
27-216	復興住宅地に再建した乳幼児保育園における、多様な緑や農作物を身近に感じる環境づくり	480,000	NPO法人 乳幼児保育園ミルク 理事長 相原 かよみ	宮城県 石巻市	石巻市の集団防災移転事業地に開園した保育園園庭をフランダースで取り囲み、緑の柵を作り園児に苗植え体験させる。また、前身の保育園の畑を移設し、じゃがいもを定植する。水やりや収穫は園児が参加し、じゃがいもは給食で食べる。フランダースの植替えや畑の整備は随時行う	12月24日	480,000
27-217	～森っ子自然体験隊～森遊びを満喫して自然の営みと大事さを知り、災害時でも対応知識を学ぶ	500,000	癒しの森づくり 代表 佐藤 秀夫	旭川市	①癒しの森を整備しイベントを実施。②癒しの森をフィールドとし間伐の体験、間伐材活用のレクチャー、③テイクアップ、間伐材薪割り体験、野外炊事、森歩きと自然の話し等で災害時でも生きる術を遊びを通して会得。④間伐した枝や幹、樹皮を利用しオリジナル作品を作ること資源活用、創意工夫の体験	2月28日	500,000
27-218	身近な自然を学ぼう	500,000	NPO法人 全国森林インストラクター会 理事長 佐藤 憲隆	神奈川県 横浜市	特定の学年単位又は地域の子供達を対象に森林インストラクターが実施。①森の紙芝居で森林の機能と保全の大切さを学ぶ。②自然観察会で森の生物を学び、ネイチャーゲームなどを実施。③ビオトープの管理指導を行いビオトープの生態系を学ぶ	3月11日	500,000
27-219	自然と親しむ 子どものためのスノーケリング教室	359,000	石巻海さくら 高橋 正祥	宮城県 石巻市 (孤崎浜・十三浜)	①ビーチクリーン活動一スノーケル教室の前に清掃活動を行う。②スノーケル教室一自分たちで清掃した場所で、普段見られない水中環境や生物を観察し自然に親しみを感じてもらおう(全3回開催)	9月16日	277,000
27-220	森林に行きたくなる出前講座～室内でできる自然体験～	226,000	自然体験活動 指導者ネットワーク en-lit 代表 福岡 雄司	苫小牧市	森の間伐で生じる枝を利用して(マグネット・スプーン・ホウ)森林の中でなるべく教室やイベントスペースで出前講座を行う。(学校レクリエーション・夏休み・冬休み工作(イベント)出前講座の中で間伐の意義や森林について伝え、枝への興味から森林への興味を引き出し、森林活動への参加を促す	3月13日	226,000
27-221	東日本大震災から4年経過した月浜の生活、産業、生態系を学ぶ	470,000	NPO法人 働くお母さんと子どもを支援する会 理事長 石森 絵美	宮城県 東松島市	浜辺の清掃活動を行い、月浜区長に講師を務めていただき、月浜の生活(自宅等見学)、産業(漁船や養殖)、生態系(魚・貝・海藻等)、震災時の様子などを学ぶ。磯場に行って生物の観察を行う	10月29日	470,000
27-222	園庭の生物多様性を高め安全な自然教育空間創り計画	500,000	聖パウロ生石保育園 園長 坂本 裕	兵庫県 高砂市	①樹木伐採により溜池に光を入れ、水生生物が生え、猛禽類が特定外来種等を捕獲する空を創る。②アヘマキ・クハシは樹液が出るよう伐採し、ホウキガの力を借りてカブトムシ・クワガタの空巣に、③伐採木は、葉・小枝は堆肥置場に、幹は朽木ビオトープに、アヘマキ・クハシはシイタケ栽培後クワガタの幼虫とビオトープに	3月2日	500,000
合計		9,717,000					9,621,000